

タイトル：汐製菓会社の新作のマカロン

登場人物：

・ 汐（しお）：（30代）汐製菓会社社長。
常に新しいお菓子のアイデアを探し求め、斬新で奇抜な発想をする。快活で楽観的。

・ 塩田（しおた）：（30代）汐の秘書。真面目で心配性。汐の暴走を止めることが日常だが、お菓子愛から汐に従っている。

第一幕：バンバンジーマカロン、誕生

（シーン：汐のオフィス。デスクの上にはお菓子の試作品が山積み。汐が新作のアイデアを練っている最中、塩田が資料を手に入室。）

汐：「塩田、これだ！次の新商品は『バンバン
ジー味のマカロン』だ！」

塩田（驚いて資料を落とす）：「えっ、バンバン
ジー？それ、鶏肉の…バンバンジー、ですよ
ね？」

汐（満面の笑みで）：「その通り！あのジュー
シーな鶏肉とゴマだれをマカロンに閉じ込めた
んだ。世界がまだ見ぬ味の革命だよ！」

塩田（困惑しながら）：「でも…マカロンって普
通、甘くて繊細なお菓子ですよ？それを鶏
肉とゴマだれで…？」

汐：「常識を破るのが我々の使命だ！誰もや
らないことをやる。それが面白いんだよ、塩
田！」

塩田（内心）：「面白いだけで済めばいいけど
…」

第二幕：社内試食会の波乱

(シーン…社内の試食ルーム。汐が社員たちを集め、「バンバンジーマカロン」の試食会が始まる。)

汐…「さあみんな！この新作マカロンを試してくれ！『バンバンジー味』だ！」

(社員たちは不安げな顔でマカロンを手に取り、少しずつ口に運ぶ。場には沈黙が広がり、徐々に表情が陰しくなる。)

社員A(小声で)…「え、これ…鶏肉だよ
ね？」

社員B(苦笑いしながら)…「確かに…バンバンジー味だけど、甘いのにゴマだれが…なんか複雑すぎて…」

社員C…「ええと…正直、口の中で何が起きているのかわからない…」

(汐は自信満々な笑みを浮かべているが、塩田は不安で落ち着かない。)

塩田（小声で）：「これ、絶対にウケない！」

汐（朗らかに）：「大丈夫！挑戦する価値があるんだ。次は海外だ！世界の反応を見ようじゃないか！」

第三幕：国内販売開始と混乱

（シーン：都内の高級デパート。特設ブースで「バンバンジーマカロン」を販売開始。客たちが立ち止まり、不思議そうに商品を見つめる。）

お客さんA：「えっ…これ、本当にマカロン？」

販売員：「はい！今までにない『バンバンジー味』の新感覚マカロンです！」

お客さんB：「バンバンジーって、鶏肉の前菜のやつだよな？なんでお菓子に…！」

（数人が勇気を出して試食するが、顔をしかめる。）

お客さんの：「うわっ、これ…何か口の中でケ
ンカしてる。甘さとゴマだれが…」

お客さんO：「マカロンはフルーツとかチョコで
しょ…これはちよつと…」

（塩田がブースを遠くから見守りながら、頭
を抱える。）

塩田（心の中）：「これは失敗だ…売れるはず
がない！」

（汐は自信満々で、お客さんたちに声をかけ
る。）

汐：「さあ、どうぞ！これは新しい食文化
だ！」

（客たちは困惑しつつも、徐々にブースを去
る。）

第四幕…海外展示会での驚き

(シーン…海外の大規模スイーツ展示会。汐と塩田が出席し、世界中のバイヤーが集まる中、汐製菓のブースが設置されている。「バンジーマカロン」が目玉商品として並べられている。)

外国人バイヤーA:「何これ？マカロンに鶏肉…っておかしくない？」

外国人バイヤーB:「聞いたことがないわ。甘いお菓子里に鶏肉だなんて、どうしてそんなことを？」

塩田(ため息をつきながら):「これは絶対に無理だ…国際市場でも受けるはずがない…」

(汐は逆に得意気にバイヤーたちに語りかける。)

汐:「皆さん、これこそが未来のスイーツです！伝統を壊し、新しい感覚を楽しんでくだ

さい。『バンバンジー味のマカロン』、ぜひ試してみてくださいー！」

（バイヤーたちはおそろおそろ試食するが、次々に困惑した顔をする。）

外国人バイヤー〇：「これ…正直に言うけど、甘いものと鶏肉は…ちよつと…」

外国人バイヤー〇：「なんだか面白い試みだけど、買い付けるのは難しいな…」

（汐は笑顔で頷くが、塩田は沈んだ表情。）

塩田（心の中）：「もうこれで終わりかもしれない…」

（その時、一人のフランス人バイヤーが現れ、大きな拍手を送る。）

フランス人バイヤー：「素晴らしい！これぞ、芸術だ！フランスの伝統的なマカロンを完全

に新しい形で表現している！これをパリで
大々的に売りたい！」

汐（大喜び）：「ほら、見ろ！やっぱり俺の考
えは間違ってた！」

塩田（啞然としながら）：「そんな…でも一人
だけで…」

第五幕…商品リリースとその後

（シーン…汐製菓の本社。塩田が売上のデー
タを持ってオフィスに入る。）

塩田：「社長、売上の報告です。」

汐：「どうだ、売れ行きは絶好調か？」

塩田（困った顔で）：「…あの、実は全然売れ
ていなくて…」

汐（驚いて）：「なんだって！？あのフランス人
バイヤーは絶賛してたじゃないか！」

塩田：「ええ、でも…国内外ほとんどの人が『サラダ味のマカロンは無理』と…」

汐（しばらく沈黙した後、突然明るく）：「よし、次だ！今度はもっと大胆に、納豆味のクッキーを作ろう！」

塩田（絶望的な表情で）：「またですか…」

（エンドロール：汐の新しいアイデアに振り回される塩田が、再び試食会に向かう姿で幕を閉じる。）

おわり

時間配分（90分間）：

- 第一幕：10分
- 第二幕：15分
- 第三幕：15分
- 第四幕：10分

• 第五幕…一〇分